



# あいわ通信

あいわ総合司法書士事務所

～事務所からのお知らせや知って得する法律情報をお届けします～

## ごあいさつ

こんにちは、司法書士の椎名尚文です。今月もあいわ通信をお届けいたします。

弊事務所では、小さな事件でもお客様の立場に立って、事件解決に向けて誠実に対応しております。もし、お悩みごとなどございましたら、お気軽に弊事務所までご相談ください。今後とも、よろしくお願いいたします。



## おまとめローンと債務整理

こんにちは。司法書士の粒来です。

当事務所は債務整理のご相談が非常に多くありますが、よくいらっしゃるのが、複数社の債務を1本化する、いわゆる「おまとめローン」を利用されている方です。

法律では、借入額が大きくなると利息の負担が減るようになっています。

具体的には、1契約あたりの借入額が10万円未満の場合に許容される利率の上限は年20%ですが、借入額が100万円以上の場合は年15%とされています。

実際、貸金業者の契約も借入残高の増加に伴って利率が下がることが多いため、複数社から小口で借りよりも1社からまとめて借りた方が利息が減り、結果として返済の負担が少なくなることがよくあります。また、複数あった借金がひとつになることで負債の管理も楽になります（貸金業者談）。

そうすると、特に毎月の返済に追われ借金に苦しむ方にとって、おまとめローンは非常に合理的で魅力的な商品に映るのではないかと思います。

しかし冒頭で触れたとおり、おまとめローンを利用してもそのまま完済には至らず、結果的に債務整理を余儀なくされることがよく起こります。相談を受ける身としては、おまとめローンは本当にいうほどよい商品なのかと考えざるを得ません。

今月号では、実際の依頼者からのお話で分かった、おまとめローンで陥りがちな落とし穴についてご紹介したいと思います。

おまとめローンは借入残高と利率の兼ね合いで返済しやすい仕組みになっているため、一見借り手に優しく見えるというお話でした。しかし、相続や保証でいきなり多額の借金をかぶったような場合を除き、毎月返済に追われるようになった原因は、借金がなくても既に家計収支が赤字だったことにある方がほとんどです。

特に毎月の返済で精一杯の方は見落としがちかもしれませんが、借金がなくても赤字なら、毎月の返済額をいくら下げたところで新たな借入れをせずに返済を続けるのは不可能です。

おまとめローンで完済した元の借入先は、完済で限度額の枠がまるっと空いて再び借入れをしやすい状態になっており、実際、おまとめローンの債務整理を依頼される方は、多くがおまとめによりいったん完済した業者からもその後に借入れを再開してしまっています。そうすると、おまとめローンが逆に借金増加のきっかけとなり、かえって自分の首を絞めることにもつながりかねません。

<裏面に続く>



## <表面からの続き>

毎月の返済に追われている方は、つい気を取られがちが目先の返済の軽減ではなく、借金の原因がどこにあり何を修正しなければならないのかをしっかりと見極めるの重要ではないかと思いません。

そのような方に必要なのは、おまとめローンではなく債務整理です。

毎月の返済に追われながら自身の生活について冷静に考えるのは非常に難しいと思います。債務整理をすることでいったん返済を止め、債権者からの取り立てのない状況でじっくり自身の生活を振り返ってみる機会が必要です。

おまとめローンの利用を検討していること自体は、借金問題を何とか解決しようと前向きに考えている証だと思います。その気持ちを維持して正しい方法を選択できれば、借金問題の解決はあと一歩です。

問題解決に向けた具体的なメニューを用意するのは我々専門家の仕事ですが、債務整理をする場合、借金の少ない早期段階の方が整理の選択肢が多くなります。

ご自身の借金に危機感をお持ちの方は、ぜひ、少しでも早い段階で弊事務所にご相談いただければ幸いです。



## ニセコアンヌプリ

こんにちは、高井です。



先日、ニセコアンヌプリ国際スキー場に行ってきました。自宅を朝の6時30分に出発し、9時過ぎにはスキー場に到着したため、思う存分スキーを楽しむことができました。

ゴンドラに乗って、さらに第4ペアリフトに乗ると、スキー場の最上部にある最大斜度25度のチャンピオンコースがあります。一部は圧雪されており、小学生の子どもを連れてきても何とか滑っておりてくれます。

チャンピオンコースを滑るのは初めてですが、2年前の夏にニセコアンヌプリを登ったときは、ゴンドラに乗って、チャンピオンコースから登山を開始しました。ニセコアンヌプリは、夏場もゴンドラを営業しており、ゴンドラに乗れば標高1000メートルまで運んでくれます。そこから300メートルほど登れば山頂のため、楽な登山だと思っていました。しかし、ゴンドラを降りてからは、スキー場コースを登っていくため、前半は斜度がきつく、一緒に登った子どもたちは早々に急傾斜の登りでバテてしまいました。途中で下山することも考えましたが、何とか山頂まで登ることができました。

私は楽しい思い出だったのですが、娘は2年前のアンヌプリ登山を最後に一緒に山を登ってくれなくなりました。今では藻岩山ですら、疲れると言って一緒に登ってくれません。

こんな思い出のチャンピオンコースを何度も滑ることができ、今回はとても楽しかったです。

なお、夏場にニセコアンヌプリを登るなら登山道が整備されている五色温泉コースがお勧めです。



ゴンドラを降りると羊蹄山がきれいに見えました。

ニュースレターをお読み頂きありがとうございます。ご意見・ご感想がありましたら、なんなりとお寄せください。(担当：司法書士 高井和馬)

  
あいわ総合司法書士事務所



〒001-0032

札幌市北区北32条西4丁目1番7号コウメイビル2階

TEL : 011-738-1101 Fax : 011-738-1107

URL : <http://www.aiwas.jp/>

e-mail : [info@aiwas.jp](mailto:info@aiwas.jp)

